

今後のチーム会活動の充実と

共催事業「国・地方連携会議ネットワークを活用した男女共同参画推進事業」の見直しについて
(案)

令和2年7月

- 昨年10月の全体会議において、「次世代への働きかけ（仮称）」と「経済分野における女性の活躍促進」の2つのテーマでチーム会活動を行い、その内容について、広報資料の作成・配布やセミナー・シンポジウム等の具体的な活動を展開することとされた。
これを受け、令和3年度予算概算要求における対応の充実が必要となっている。
- 一方、共催事業については、
 - ① 平成24年度以降8年間にわたり一定の成果が上がっている一方で、
 - ② 近年は企画提案の件数が低調であり、かつ、同一の団体による応募が多く政府として目標に掲げる新規の団体数（3団体）が令和元年度において達成することができなかった
 - ② 令和2年度においても、当該目標が達成できない見込み
といった課題がある。
- 政府において検討中の第5次男女共同参画基本計画（以下「5次計画」という。）に向けた「基本的な考え方」においては、男女共同参画推進連携会議の場を活用した重要課題に関する意見交換や情報共有などが強調されており、チーム会活動の一層の充実が期待されているところ。
- 上記を踏まえ、共催事業については現行の基本計画の計画期間が終了する今年度をもって終えることとし、5次計画の計画期間が始まる令和3年度からはチーム会活動の一層の充実を図る方向で、令和3年度予算概算要求において必要な措置を講ずることとしたい。